

HPの機能と運用方法

Introduction of Electronic Journal of Advanced Maintenance Website Structure and Editorial Operation

日立ニュークリア・エナジー株式会社 伊東 敬 Takashi ITO Member
日本保全学会 中村 麻友 Mayu NAKAMURA

Electronic Journal of Advanced Maintenance (EJAM) has been issued on the website of Japan Society of Maintenance (JSM) on May 25th, 2009
This report introduces EJAM website structure and Editorial Operation.

Keywords: EJAM, Maintenance technology, Website



1. 緒言

E-Journal of Advanced Maintenance (EJAM) においては、世界の原子力界に情報を提供し、原子力安全を達成するために有効な保全技術に関する情報を発信していくこととしており、その内容は「一般記事 (General Articles)」、「学術論文 (Academic Paper)」、「保全技術記事 (New Technology)」の3つの分野から構成されている[1]。

ここでは、EJAMのホームページの構成、機能と運用方法をご紹介します。

2. EJAM ホームページの構成、機能

EJAM ホームページ (<http://www.jsm.or.jp/ejam/>) は Fig. 1 に示す構成となっている。最新号 (現状は5月25日発刊第1号) のフレームをメインにして、EJAMの目的 (The Purpose of EJAM)、記事/論文の募集要項 (To Contributors)、発刊状況 (Issues)、最新トピックス (Occasional Topics) 等のフレームが周辺に配置されている。読者が特定の保全技術に関しての EJAM 上の情報に迅速にアクセスできるように“search”機能も設置されている。

最新号のフレームは、EJAMの3つの分野である「一般記事」、「学術論文」、「保全技術記事」に区分されており、目次機能として、各記事又は論文のリストが表示されている。保全技術記事のリストには、各技術のイメージが湧くような写真、図を併せて掲載して、読者が興味のある情報に容易にアクセスできるよう配慮されている。

いずれの記事も、以下に示すようにタイトルをクリックすることにより詳細な情報にアクセスできる。

- ① 一般記事
タイトル⇒本文
- ② 学術論文
タイトル⇒Abstract⇒本文
- ③ 保全技術記事
タイトル⇒本文⇒関連、補足情報

保全技術記事に用いられている写真、図等は、クリックすることにより拡大され明瞭な状態で見ることができる。

最新トピックスには、保全に関連する国際会議情報等がリストアップされており、クリックにより詳細情報を見ることができる。

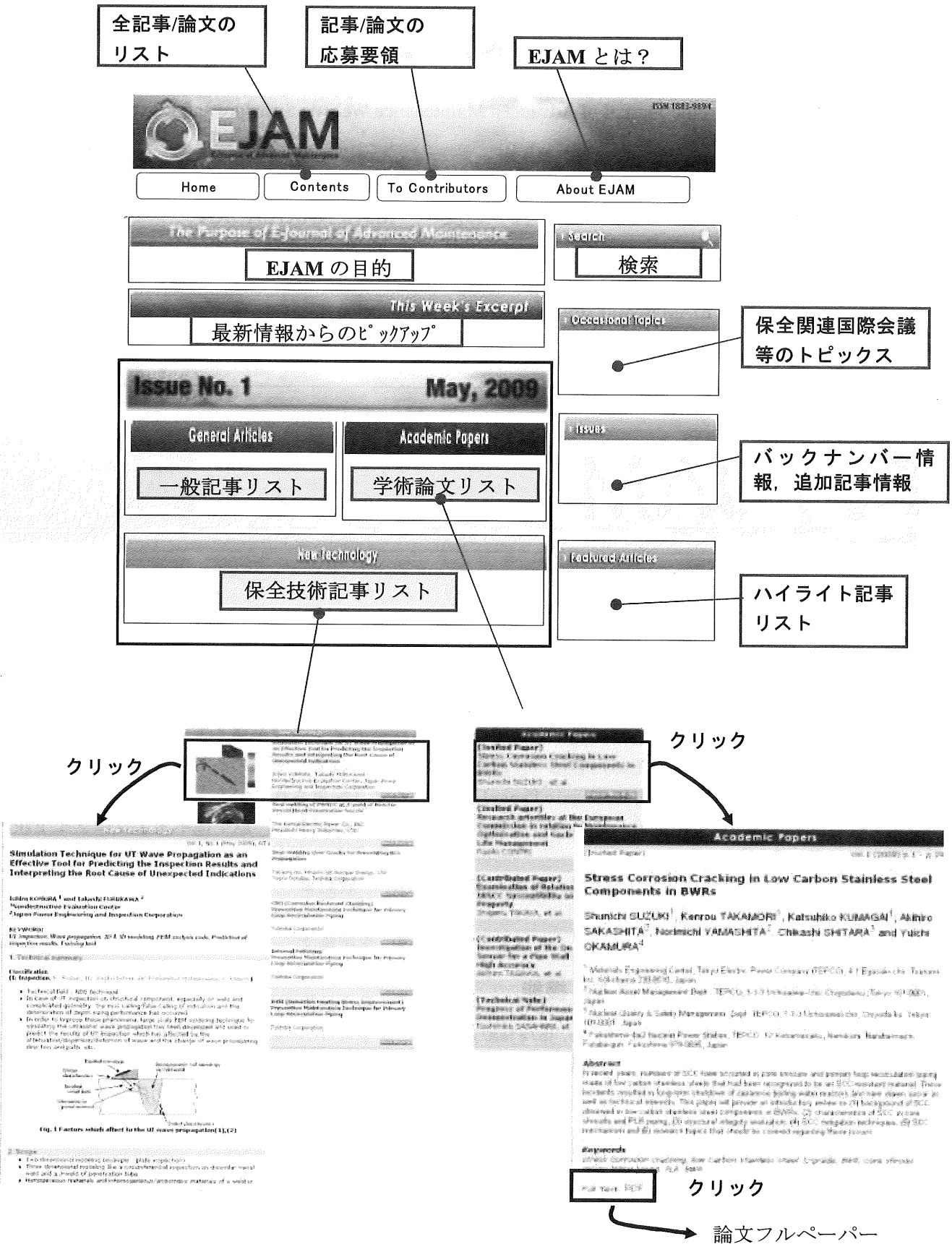


Fig.1 EJAM Website HP and its Structure

3. EJAM ホームページの運用

EJAM は年に4回、一般記事、学術論文、保全技術記事を刷新して発刊される。

これに加えて、E-Journal としてのメリットを活用して以下に示す運用を行っていくこととしている。

- ① 発刊後に、掲載記事に関する追加情報、最新情報が寄せられた場合は、次号の発行を待たずに、随時追加して、常に最新の情報を提供していく。
- ② バックナンバーは、HP 上の発刊状況のフレームからアクセスできるようにし、情報が追加された場合には、ひと目でわかるようにする。
- ③ 次号掲載予定の記事については、タイトルと概要等を予告編として掲載する。
- ④ 最新トピックスについては、随時更新する。

4. 結言

EJAM ホームページの構成、機能と運用方法について紹介した。今後、読者の方々からのご意見、要望を反映して、情報の共有がより合理的に行えるようにPDCAを廻して改良していく。

謝辞

本報は、EJAM 編集委員会、幹事会において検討された内容を著者がまとめたものである。同委員会及び幹事会の委員各位並びに日本保全学会事務局の方々のご指導、ご助言に感謝する。

参考文献

- [1] 坂下彰浩, 宮健三, “EJAM の紹介”, 保全学 vol. 8, No. 2(2009), pp. 3-8.